

令和 4 年度研究室入室案内(シラバス)

当研究室では、動物を病気から衛る獣医師、獣医学博士を養成します。畜産現場の衛生対策あるいは家畜疾病のための検査を行い、必要があれば農場に調査に行きます。動物を愛し、協調性を持ち、微生物学を基盤とした家畜衛生獣医療に関心のある学生を歓迎します。動物を病気にさせない、それが衛生です。

V3 生向け

◆ 受入人数 (R4 年度 4 年生から) : 2 名

受入前要面談。入室志望動機、3 年前期の動物衛生学講義の出席状況および受講態度を確認します。

◆ 欧文獣医学演習 I・II (必修:各 1 単位) (評価基準: 英語読解能力、プレゼン、ディスカス状況)

英語文献(動物の疾病制御関連)の読解力を養成します。週 1 回開催(通常火曜日)し、全室員が出席する。発表は順番制。発表予定者は、資料を発表予定 1 週間前に室員に配布し、当日はスライドを用いた発表形式でプレゼンする。年間発表回数は 3 回以上。室員は事前に資料を熟読し、当日は全室員が一つ以上質問する。発表者は、それらの質問に対して、適切に応答するよう努める。

◆ 産業動物衛生学専修実験 I・II (必修:各 1 単位) (評価基準: 研究態度、調査能力など) 初めは、上級生の研究を補助し、技術の習得に努めます。次に、短期的研究・調査課題に取り組んでももらいます。

その他、農場訪問、牛等の解剖にも積極的に参加し、農家さんとのコミュニケーション、牛や豚のハンドリング、試料サンプリング技術等の向上に努めること。

◆ 卒業論文(必修 8 単位) 卒業論文に関わる研究の進捗状況・研究計画について、ループリック評価の項目に従って確認し、評価します。5 年生終了時には、卒業論文研究に関する面談を実施します。

現在の卒業研究等テーマ

- ① *Mycoplasma bovis* 感染症に関する研究 (2020. 9、2021.10 学会発表)
- ② 子牛の呼吸器病・下痢症の予防に関する研究
- ③ 豚浮腫病予防、治療に関する研究 (機能性飼料添加物、飼料成分の影響など) (2018.10 学会発表)
- ④ 馬由来細菌の薬剤耐性菌などに関する研究 (2019. 9、2021.10、2021.12 学会発表)
- ⑤ 動物由来薬剤耐性菌に関する研究
- ⑥ 塩素酸水の消毒評価に関する研究 (2021.12 学会発表)

◆ 室員の心得

○ 教員、室員への挨拶を怠らない。教員からのメール・LINE などには必ず返信すること。

○ 研究室に来られない場合(体調不良等)は、教員に必ず連絡すること。無断不登校厳禁。必要と認めた場合は、自宅訪問や保護者への連絡を行います(※ 入室にあたり、自宅住所と緊急時連絡先を確認します)。

○ 講義・実習、ゼミ、研究室専修実験、卒業論文研究、掃除当番などに支障のあるバイトは認めません。

	○ 研究室の休み（基本）：土日、祝祭日。春季（1 週間）、夏季（2 週間）、冬季（12/28～1/3） ○ 「獣医棟 3 F 感染症ユニット利用規定 (https://www.miyazaki-u.ac.jp/cadic/usage/guidance.html)」を厳守すること。 ○ 感染症関連 5 研究室合同ゼミに出席し、5－6 年生は発表し、4 年生は年間の規定回数質問する（義務）。 ○ 研究室（または CADIC）主催の講習会の準備・運営等の手伝いを通して、社会人としての振る舞いを学ぶ。 ○ その他、当研究室の HP (https://www.cc.miyazaki-u.ac.jp/msuei/index.htm) 参考。 ○ 研究室行事（学生自主計画） 花見、誕生日会、ビアガーデン、キャンプ、忘年会、歓送迎会など
V4 生向け	◆受入人数（R4 年度 5 年生まで）：3 名 受け入れ前に要面談。当研究室教員担当の講義の成績、実習時の態度ならびに卒業論文研究（8 単位）に対する積極性および熱意等を確認します。